

これまで覚えてきた左手の形で押さえる最後のポジション 第5と第6の中間ポジション

・第5と第6の中間ポジション

D、A、E各線の音列はG、D、A各線の第2と第3の中間ポジションと同じです。
また、前回と同様に親指に対して弦を押さえる各指がどの辺りに来るかを覚えていきましょう。
第5と第6の中間ポジションの2（3）4の指の幅はほぼ密着した状態となっています。
楽器によって多少の違いはあるので、ポジションの練習をしながら各指の幅を覚えていきましょう。

今回も「ダブルシャープ」が登場します。
ダブルシャープは楽譜に「x」という記号で書かれることをもう一度、覚えておきましょう。
#で半音上げた音をさらに半音上げてくださいね、という意味があり（重嬰記号）とも呼ばれます。

たとえば「ファ」の音にシャープ（#）が付けば半音上がり「ファ#」の音になります。
そして、ダブルシャープ（x）が付けば、さらに半音上がり「ソ」と同じ音になります。

吹奏楽作品の中にもたまに顔を出す記号ですなので、覚えておくと役に立ちます。

G線を使った第2ポジションの音列

または

第5と第6の中間ポジション 各弦の音

メトロノームと合わせて各弦の音を覚えよう！
はじめはゆっくりから、弓を全部使って、または音符の長さに合わせた配分で練習します。
弓と弦は直角に、左手の形は開放弦を弾いているときも弦の上でキープしておきましょう。

♩ = 44 ~

G線

D線

A線

E線